

平成30年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 結果と分析

【国語】

- 敬語の使い方を正しく理解できている。
- 漢字の読み・書きや語句の意味など、基本的な言葉の知識・理解面に課題が見られる。

【算数】

- 小数の割り算を用いる場面の理解が正しくできている。
- 図形の名称やその性質から、問われたことに答えたり、その理由を説明したりすることに課題が見られる。

【理科】

- ヒトの腕の関節の仕組みが正しく理解できている。
- 実験の結果と自然事象を結びつけて考察する問題に課題が見られる。

2 取組についての評価

(1) 効果があった取組

- ・ 算数科 演算決定における統一した図の指導
- ・ 国語科 長文から必要な情報を選び出す読み方の指導

(2) 改善を図る点

- ・ 「話す」「書く」活動を取り入れた、一人ひとりに出番のある授業づくり
- ・ 朝タイムを活用した基礎的な内容（国語・算数・理科・社会）の徹底指導
- ・ 6年算数科における、全単元学年4分割による、個人差に応じたきめ細やかな指導
- ・ 高学年の家庭学習（自主学習）の内容を、個人の課題に応じた予習・復習へ変更

(3) 今後の学力、学習習慣の向上に対する取組

- ・ 家庭学習強化週間の実施（11月・2月）
- ・ 低学年担任の協力を得た算数習熟タイムの実施（6年は3学期実施）